



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社ネクソン

上場取引所 東

コード番号 3659 URL <http://www.nexon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) オーウェン・マホニー

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役最高財務責任者 (氏名) 植村 士朗 TEL 03-3523-7910

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 平成28年9月26日

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	95,620	1.0	17,082	△49.1	7,832	△79.5	1,498	△95.3	1,292	△95.9	△36,823	-
27年12月期第2四半期	94,636	12.1	33,539	7.7	38,247	31.8	31,960	56.0	31,549	56.0	38,816	374.0

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	2.97	2.91
27年12月期第2四半期	73.41	71.25

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	384,799	342,914	338,312	87.9
27年12月期	425,586	379,681	374,447	88.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	-	5.00	-	5.00	10.00
28年12月期	-	5.00	-	-	-
28年12月期（予想）	-	-	-	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成28年12月期第3四半期（累計）の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年9月30日）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期（累計）	133,970	△7.3	27,716	△46.7	19,377	△68.1	11,029	△78.5	10,940	△78.4	25.12
	～ 136,942	～ △5.2	～ 30,009	～ △42.3	～ 21,670	～ △64.3	～ 12,994	～ △74.6	～ 12,889	～ △74.6	～ 29.59

平成28年12月期の連結業績予想については、現時点で通期の合理的な業績予想の算定が困難であるため、第3四半期（累計）の業績予想のみを開示しております。詳細は、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	436,377,117株	27年12月期	434,117,117株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	48株	27年12月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	435,163,226株	27年12月期2Q	429,753,231株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断できる一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法について）

当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	5
3. 要約四半期連結財務諸表	6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(2) 要約四半期連結損益計算書	8
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	12
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(6) 継続企業の前提に関する注記	14
(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(8) セグメント情報	14
(9) 後発事象	18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、米国が個人消費や住宅投資を中心に堅調に推移している一方で、欧州は英国の欧州連合離脱の決定、中国を始めとするアジア新興国は経済成長率の減速により足踏み状態で推移いたしました。わが国経済は、設備投資や雇用・所得環境の改善、消費増税再延期等から緩やかな景気の回復が期待される一方で、熊本地震や英国の欧州連合離脱の決定等に伴う急激な株安・円高の進行により先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、PCオンライン事業及びモバイル事業を展開し、ユーザーの皆様楽しんでいただける高品質なゲームの開発、コンテンツの獲得、新規ゲームタイトルの配信に努めるとともに、既存ゲームタイトルのアップデートを推し進めてまいりました。具体的には、グループ内におけるゲーム開発力の強化、他社との共同開発を含めた事業提携、有力なゲーム開発会社の買収等による高品質な新規ゲームタイトルの配信、モバイル事業におけるネイティブアプリの開発力強化、既存ゲームタイトルの魅力的なコンテンツアップデートを実施するための事業基盤の更なる強化などに取り組んでまいりました。

当第2四半期連結会計期間におきましては、当社事業における主要外貨の韓国ウォン、中国元、及び米国ドルなどの対円為替レートが前年同期比で下落したことによる為替の悪影響が大きく、売上収益は減少しました。中国においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の労働節アップデート(4月)及び8周年アップデート(6月)に合わせたアイテム販売がユーザーの好評を博したことにより売上収益が好調に推移しました。また、韓国においては、前第4四半期にリリースした『HIT』が当第2四半期においても好調であったことや、前第3四半期にリリースした『ドミネーションズ』等からの寄与により、モバイルゲームの売上収益が前年同期比で増加しましたが、全体としては為替の影響を大きく受けた結果、減少となりました。

費用面では、『EA SPORTS™ FIFA Online 3』(以下FIFA Online 3)及び『EA SPORTS™ FIFA Online 3 M』(以下FIFA Online 3 M)からの売上収益が対前年同期で減少したこと、また当第1四半期にビッグ・ヒュージ・ゲームズ・インクを完全子会社化したことにより、前第2四半期に欧米地域でリリースした『ドミネーションズ』に係るロイヤリティ費用の認識が不要となったことから対前年同期でロイヤリティ費用が減少したこと等により、売上原価は前年同期比で減少しました。販売費及び一般管理費は、主に『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)に係る主要なIPの償却が前第3四半期に終了したことに伴い減価償却費が大きく減少したこと及び大型の新規タイトルのローンチがなかったことにより広告宣伝費が減少した結果、前年同期比で大きく減少しました。また、外貨建ての現金預金及び売掛金について為替差損が発生した結果、前年同期比で金融収益は減少し、金融費用は増加しました。

上記の結果、当第2四半期連結累計期間の売上収益は95,620百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は17,082百万円(同49.1%減)、税引前四半期利益は7,832百万円(同79.5%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,292百万円(同95.9%減)となりました。

報告セグメントの当第2四半期連結累計期間の業績は、次のとおりであります。

① 日本

当第2四半期連結累計期間の売上収益は7,759百万円(前年同期比31.5%減)、セグメント損失は1,303百万円(前年同期は863百万円の損失)となりました。日本では、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームともに減収となりました。

② 韓国

当第2四半期連結累計期間の売上収益は80,421百万円(前年同期比7.0%増)、セグメント利益は43,338百万円(同16.5%増)となりました。前第4四半期にリリースした『HIT』が当第2四半期においても好調であったことや、前第3四半期にリリースした『ドミネーションズ』等からの寄与により、モバイルゲームの売上収益が前年同期比で増加しました。なお、韓国セグメントの売上収益には、子会社であるネクソン・コリア・コーポレーションの傘下にあるネオプル・インクの中国におけるライセンス供与に係るロイヤリティ収益が含まれます。当第2四半期連結累計期間においては、主力PCオンラインゲーム『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)の労働節アップデート(4月)及び8周年アップデート(6月)に合わせたアイテム販売がユーザーの好評を博したことにより、ロイヤリティ収益が増加したため、好調に推移しました。

③ 中国

第2四半期連結累計期間の売上収益は2,259百万円(前年同期比47.9%増)、セグメント利益は1,572百万円(同167.7%増)となりました。中国では、既存のPCオンラインゲームに係るコンサルティング収入の増加により増収増益となりました。

④ 北米

第2四半期連結累計期間の売上収益は4,422百万円(前年同期比22.9%減)、セグメント損失は2,036百万円(前年同期は2,162百万円の損失)となりました。北米地域におきましては、『ドミネーションズ』及び既存PCオンラインゲームの減少により減収となりました。

⑤ その他

第2四半期連結累計期間の売上収益は759百万円(前年同期比14.0%減)、セグメント損失は134百万円(前年同期は176百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は384,799百万円であり、前連結会計年度末に比べて40,787百万円減少しております。主な増加要因は、営業債権及びその他の債権の増加(前期末比7,565百万円増)、その他の預金の増加(同14,222百万円増)であり、主な減少要因は、現金及び現金同等物の減少(同46,157百万円減)、減損損失の計上に伴うのれんの減少(同20,124百万円減)によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は41,885百万円であり、前連結会計年度末に比べて4,020百万円減少しております。主な減少要因は、仕入債務及びその他の債務の減少(前期末比4,440百万円減)によるものであります。

(資本)

当第2四半期会計期間末における資本の残高は342,914百万円であり、前連結会計年度末に比べて36,767百万円減少しております。主な増減要因は、減資に伴う資本金の減少(前期末比53,928百万円減)及び資本剰余金の増加(同56,401百万円増)、在外営業活動体の換算差額等に伴うその他の資本の構成要素の減少(同38,314百万円減)によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は87.9%(前連結会計年度末は88.0%)となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ46,157百万円減少し、148,068百万円となりました。当該減少には為替変動による影響22,758百万円が含まれております。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は26,520百万円(前年同期は20,210百万円の収入)となりました。主な増加要因は、税引前四半期利益7,832百万円及び減損損失24,492百万円、為替差損9,646百万円であり、主な減少要因は、営業債権及びその他の債権の増加額11,912百万円、法人所得税の支払額7,513百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は48,015百万円(前年同期は11,994百万円の支出)となりました。主な減少要因は、その他の預金の増加額29,192百万円、子会社の取得による支出5,581百万円、長期貸付金の貸付による支出5,002百万円による支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,904百万円(前年同期は9,830百万円の支出)となりました。主な減少要因は、配当金の支払額2,173百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループを取り巻く事業環境は、世界中でPC及びモバイルの高速インターネット利用環境の一層の整備が見込まれることなどを背景に大きく変化をしております。連結業績予想につきましては、当社グループの主力事業であるPCオンラインゲーム及びモバイルゲーム市場は、成長速度を予測することが難しく、ユーザーの嗜好や人気タイトルの有無などの不確定要素に収益が大きく左右されることから、通期の業績予想を算出することが困難であり、株主と投資家の皆様により正確な情報を提供するために、通期業績予想を開示することを控え、翌四半期の業績予想をレンジ形式により開示させていただいております。なお、「平成28年12月期第3四半期(累計)の連結業績予想」は平成28年12月期第2四半期連結累計期間の実績値に第3四半期連結会計期間の業績予想を加算したものとなっております。平成28年12月期第3四半期連結会計期間の業績予想については、下表をご参照ください。

当社グループにおける平成28年12月期第3四半期連結累計期間の業績予想は、売上収益133,970～136,942百万円(前年同期比△7.3%～△5.2%減)、営業利益27,716～30,009百万円(同△46.7%～△42.3%減)、税引前利益19,377～21,670百万円(同△68.1%～△64.3%減)、四半期利益11,029～12,994百万円(同△78.5%～△74.6%減)、親会社の所有者に帰属する四半期利益10,940～12,889百万円(同△78.4%～△74.6%減)、基本的1株当たり四半期利益25.12～29.59円となっております。当社グループは、日本、韓国、中国、米国、欧州をはじめとして、世界中で事業を運営しております。取引における主要な為替レートは1ドル=103.98円、100ウォン=9.11円、1中国元=15.58円と想定しています。一般に韓国ウォンも中国人民元も米国ドルと連動して為替は推移します。このことを前提とし、為替レートの当社グループ業績への影響度に関して、当社が想定するドル円の為替レートに対して1円為替が変動した場合、第3四半期は売上収益が約350百万円、営業利益が約100百万円変動するものと当社では推定しております。

平成28年12月期第3四半期連結累計期間におけるPCオンライン及びその他事業の予想売上収益は103,395～105,376百万円、モバイル事業の予想売上収益は30,575～31,566百万円です。当第2四半期に引き続き、当第3四半期は当社事業における主要外貨の韓国ウォン、中国元、及び米国ドル等の対円為替レートの下落が当社事業に対しマイナス影響を与えることが予想されます。韓国においては、『FIFA Online 3』及び『FIFA Online 3 M』、『サドンアタック』(Sudden Attack)の売上収益の減少が見込まれること、また7月に配信を開始した期待の新規タイトル『サドンアタック2』(Sudden Attack2)が9月末をもってサービスの終了を決定したことにより、新たな売上収益の獲得が見込めないこと等から前年同期比で売上収益が減少することが見込まれます。中国では、主力タイトルの『アラド戦記』(Dungeon&Fighter)に関し、7月に実施した夏季アップデートとともに国慶節アップデートを9月に実施することを予定しております。尚、当第3四半期は、業績面で重要性の高い国慶節アップデートを、9月22日に実施した前第3四半期よりも遅いタイミングで実施予定のため、当第3四半期の業績に対する影響は限定的であり、第4四半期の業績により大きな影響があることが予想されます。北米では、PCオンラインゲーム『Riders of Icarus』のオープンベータテストを7月に開始したこと等により、前年同期比で売上収益が増加することが見込まれます。モバイル事業では、主に日本におけるブラウザゲーム、『FIFA Online 3 M』及び『ドミネーションズ』等の売上収益が前年同期比で減少することが予想される一方で、韓国及び日本、中国を除くその他地域における『HIT』が対前年同期で新たに業績に寄与することが見込まれます。

費用面では、当第3四半期に韓国及び日本、中国を除くその他地域で配信した『HIT』などのパブリッシングタイトルの売上収益への寄与がロイヤルティ費用の対前年同期での増加要因となる一方で、『FIFA Online 3』および『FIFA Online 3 M』の売上収益が前年同期比で減少すること、『ドミネーションズ』の開発会社であるビッグ・ヒュージ・ゲームズ・インクを完全子会社化したことにより、連結上、ロイヤルティ費用の認識が不要になったこと等により、前年同期比で外部IPに係るロイヤルティ費用などの変動費が減少すること、及び『アラド戦記』のIPに係る償却が前第3四半期に終了したことにより償却費が減少することが予想されます。これら費用の減少による増益効果が見込まれる一方で、当社事業の主要外貨である韓国ウォン及び中国元などの対円為替レートが前年同期比で大幅に下落すること、また、主要事業地域である中国及び韓国からの売上収益が前年同期比で減少することによる減益効果により、当第3四半期の営業利益率は、前年同期比で下落することが予想されます。業績見通しについては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいるため、実績値は業況の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

(参考)

平成28年12月期第3四半期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		基本的1株当たり四半期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第3四半期	38,350	△23.0	10,634	△42.3	11,545	△48.7	9,531	△50.5	9,648	△49.7	22.11
	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～	～
	41,322	△17.0	12,927	△29.9	13,837	△38.5	11,496	△40.3	11,598	△39.5	26.57

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

(IFRSにより要求される会計方針の変更)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、特段の記載がない限り、以下の新たに適用する基準を除いて、前期の連結財務諸表において適用した会計方針と同一であります。なお、当第2四半期連結累計期間の法人所得税費用は、見積平均年次実効税率を基に算定しております。

当社グループは、第1四半期連結会計期間(2016年1月1日から2016年3月31日まで)より以下の基準を適用しております。これらについては、当第2四半期連結累計期間において重要な影響はありません。

基準書	基準書名	新設・改訂の概要
IAS第1号	財務諸表の表示	重要性と集約、小計の表示、財務諸表の構成及び会計方針の開示を明確化
IFRS第5号	売却目的で保有する非流動資産及び非継続事業	資産の処分方法の改訂
IFRS第7号	金融商品：開示	サービシング契約が継続的関与に該当しうることを明確化 相殺に関する開示規定の要約期中財務諸表に対する適用条件を明確化
IFRS第10号及びIAS第28号	連結財務諸表	投資企業及びその子会社への連結の例外の適用を明確化
IFRS第11号	共同支配の取決め	事業に該当する共同支配事業の持分の取得に関する会計処理を改訂
IAS第16号	有形固定資産	収益を基礎とした減価償却の方法が適切となる可能性のある状況を明確化
IAS第19号	従業員給付	従業員拠出に関する会計処理を改訂
IAS第27号	個別財務諸表	個別財務諸表における子会社、共同支配企業および関連会社に対する投資の会計処理を改訂
IAS第34号	期中財務報告	要求される期中開示は期中財務諸表に織り込むか、期中財務報告書の該当箇所に組み込むことを明確化
IAS第38号	無形資産	収益を基礎とした償却の方法が適切となる可能性のある状況を明確化

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	194,225	148,068
営業債権及びその他の債権	33,362	40,927
その他の預金	97,105	111,327
その他の金融資産	1,973	2,008
その他の流動資産	5,005	5,777
流動資産合計	331,670	308,107
非流動資産		
有形固定資産	22,027	19,534
のれん	35,387	15,263
無形資産	7,520	7,827
持分法で会計処理している投資	2,071	5,347
その他の金融資産	19,576	22,472
その他の非流動資産	3,040	2,496
繰延税金資産	4,295	3,753
非流動資産合計	93,916	76,692
資産合計	425,586	384,799

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
仕入債務及びその他の債務	10,874	6,434
繰延収益	9,558	8,040
借入金	1,916	1,666
未払法人所得税	7,135	5,227
その他の金融負債	568	293
引当金	2,246	913
その他の流動負債	4,587	4,404
流動負債合計	36,884	26,977
非流動負債		
繰延収益	1,985	7,996
借入金	2,501	1,668
その他の金融負債	790	1,010
引当金	327	298
その他の非流動負債	1,280	1,235
繰延税金負債	2,138	2,701
非流動負債合計	9,021	14,908
負債合計	45,905	41,885
資本		
資本金	56,441	2,513
資本剰余金	34,597	90,998
自己株式	-	△0
その他の資本の構成要素	73,308	34,994
利益剰余金	210,101	209,807
親会社の所有者に帰属する持分合計	374,447	338,312
非支配持分	5,234	4,602
資本合計	379,681	342,914
負債及び資本合計	425,586	384,799

(2) 要約四半期連結損益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	94,636	95,620
売上原価	△23,694	△23,550
売上総利益	70,942	72,070
販売費及び一般管理費	△36,361	△30,614
その他の収益	214	267
その他の費用	△1,256	△24,641
営業利益	33,539	17,082
金融収益	4,907	1,630
金融費用	△214	△10,949
持分法による投資利益	15	69
税引前四半期利益	38,247	7,832
法人所得税費用	△6,287	△6,334
四半期利益	31,960	1,498
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	31,549	1,292
非支配持分	411	206
四半期利益	31,960	1,498
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	73.41円	2.97円
希薄化後1株当たり四半期利益	71.25円	2.91円

【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	42,664	38,123
売上原価	△11,092	△10,475
売上総利益	31,572	27,648
販売費及び一般管理費	△19,585	△14,202
その他の収益	90	120
その他の費用	△757	△187
営業利益	11,320	13,379
金融収益	2,331	808
金融費用	△97	△4,401
持分法による投資利益	11	53
税引前四半期利益	13,565	9,839
法人所得税費用	△452	△2,262
四半期利益	13,113	7,577
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	13,010	7,564
非支配持分	103	13
四半期利益	13,113	7,577
1株当たり四半期利益 (親会社の所有者に帰属)		
基本的1株当たり四半期利益	30.35円	17.36円
希薄化後1株当たり四半期利益	29.33円	17.03円

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益	31,960	1,498
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	10,194	△535
確定給付型年金制度の再測定額	0	1
持分法によるその他の包括利益	-	△2
法人所得税	△2,801	240
純損益に振替えられることのない項目合計	7,393	△296
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△543	△38,026
キャッシュ・フロー・ヘッジ	13	-
持分法によるその他の包括利益	△1	1
法人所得税	△6	-
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目合計	△537	△38,025
その他の包括利益合計	6,856	△38,321
四半期包括利益	38,816	△36,823
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	38,427	△36,357
非支配持分	389	△466
四半期包括利益	38,816	△36,823

【第2四半期連結会計期間】

(単位:百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益	13,113	7,577
その他の包括利益		
純損益に振替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定 する金融資産	7,280	△976
確定給付型年金制度の再測定額	△0	0
持分法によるその他の包括利益	-	△1
法人所得税	△2,504	177
純損益に振替えられることのない項目合計	4,776	△800
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	1,881	△26,001
キャッシュ・フロー・ヘッジ	19	-
持分法によるその他の包括利益	△1	0
法人所得税	△6	-
純損益にその後に振替えられる可能性のある 項目合計	1,893	△26,001
その他の包括利益合計	6,669	△26,801
四半期包括利益	19,782	△19,224
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	19,650	△18,786
非支配持分	132	△438
四半期包括利益	19,782	△19,224

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	52,481	40,830	-	92,044	155,025	340,380	5,097	345,477
四半期利益	-	-	-	-	31,549	31,549	411	31,960
その他の包括利益	-	-	-	6,878	-	6,878	△22	6,856
四半期包括利益合計	-	-	-	6,878	31,549	38,427	389	38,816
新株の発行	2,079	2,079	-	-	-	4,158	-	4,158
新株発行費用	-	△12	-	-	-	△12	-	△12
配当金	-	-	-	-	△2,156	△2,156	-	△2,156
株式に基づく報酬取引	-	-	-	156	-	156	-	156
自己株式の取得	-	△169	△10,000	-	-	△10,169	-	△10,169
自己株式の消却	-	△10,000	10,000	-	-	-	-	-
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	-	-	-	△15	15	-	-	-
所有者との取引額合計	2,079	△8,102	-	141	△2,141	△8,023	-	△8,023
資本(期末)	54,560	32,728	-	99,063	184,433	370,784	5,486	376,270

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配 持分	資本合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	その他の 資本の構 成要素	利益 剰余金			
資本(期首)	56,441	34,597	-	73,308	210,101	374,447	5,234	379,681
四半期利益	-	-	-	-	1,292	1,292	206	1,498
その他の包括利益	-	-	-	△37,649	-	△37,649	△672	△38,321
四半期包括利益合計	-	-	-	△37,649	1,292	△36,357	△466	△36,823
資本金から資本剰余金への 振替	△55,227	55,227	-	-	-	-	-	-
新株の発行	1,299	1,299	-	-	-	2,598	-	2,598
新株発行費用	-	△10	-	-	-	△10	-	△10
配当金	-	-	-	-	△2,171	△2,171	-	△2,171
株式に基づく報酬取引	-	-	-	△89	-	△89	-	△89
非支配持分の取得	-	△115	-	-	-	△115	△166	△281
自己株式の取得	-	-	△0	-	-	△0	-	△0
その他の資本の構成要素か ら利益剰余金への振替	-	-	-	△576	576	-	-	-
その他の増減額	-	-	-	-	9	9	-	9
所有者との取引額合計	△53,928	56,401	△0	△665	△1,586	222	△166	56
資本(期末)	2,513	90,998	△0	34,994	209,807	338,312	4,602	342,914

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	38,247	7,832
減価償却費及び償却費	8,106	2,980
株式報酬費用	1,127	765
受取利息及び受取配当金	△3,254	△1,608
支払利息	194	14
減損損失	1,063	24,492
持分法による投資損益(△は益)	△15	△69
為替差損益(△は益)	△1,122	9,646
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△8,893	△11,912
仕入債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△2,082	△3,835
繰延収益の増減額(△は減少)	△1,531	6,260
その他	813	△2,423
小計	32,653	32,142
利息及び配当金の受取額	3,217	1,900
利息の支払額	△228	△9
法人所得税の支払額	△15,432	△7,513
営業活動によるキャッシュ・フロー	20,210	26,520
投資活動によるキャッシュ・フロー		
その他の預金の増減額(△は増加)	△8,612	△29,192
有形固定資産の取得による支出	△1,474	△997
有形固定資産の売却による収入	10	12
無形資産の取得による支出	△1,297	△633
長期前払費用の増加を伴う支出	△600	△1,107
有価証券の取得による支出	△642	△1,478
有価証券の売却による収入	2,330	366
関連会社取得による支出	-	△3,645
子会社の取得による支出	△2,155	△5,581
長期貸付金の貸付による支出	△3	△5,002
その他	449	△758
投資活動によるキャッシュ・フロー	△11,994	△48,015
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	750	△250
長期借入れによる収入	5,000	-
長期借入金の返済による支出	△6,179	△833
ストック・オプションの行使による収入	3,173	1,732
自己株式取得による支出	△10,169	△0
子会社の自己株式取得による支出	-	△281
配当金の支払額	△2,156	△2,173
その他	△249	△99
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,830	△1,904
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,614	△23,399
現金及び現金同等物の期首残高	117,729	194,225
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	146	△22,758
現金及び現金同等物の四半期末残高	116,261	148,068

(6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(7) 親会社の所有者に帰属する持分の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(8) セグメント情報

① 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発、配信を行っており、取り扱う商品・サービスについて国内においては当社及び国内連結子会社、海外においては現地連結子会社が、それぞれ独立した経営単位として各地域における包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、PCオンラインゲーム及びモバイルゲームの制作・開発・配信を基礎とした各社の所在地別のセグメントから構成されております。報告セグメントは「日本」、「韓国」、「中国」、「北米」及び「その他」の5つとしており、「その他」の区分には欧州及びアジア諸国が含まれております。

② 報告セグメントの収益及び損益

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	11,322	75,171	1,528	5,732	883	94,636	-	94,636
セグメント間収益	25	1,656	-	9	66	1,756	△1,756	-
計	11,347	76,827	1,528	5,741	949	96,392	△1,756	94,636
セグメント利益又は損失 (注1)	△863	37,202	587	△2,162	△176	34,588	△7	34,581
その他の収益・費用(純額)								△1,042
営業利益								33,539
金融収益・費用(純額)								4,693
持分法による投資利益								15
税引前四半期利益								38,247

(注)1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額△7百万円は、セグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	7,759	80,421	2,259	4,422	759	95,620	-	95,620
セグメント間収益	98	1,101	-	539	22	1,760	△1,760	-
計	7,857	81,522	2,259	4,961	781	97,380	△1,760	95,620
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,303	43,338	1,572	△2,036	△134	41,437	19	41,456
その他の収益・費用(純額)								△24,374
営業利益								17,082
金融収益・費用(純額) (注4)								△9,319
持分法による投資利益								69
税引前四半期利益								7,832

(注)1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。

2. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいております。

3. セグメント利益又は損失の調整額19百万円は、セグメント間取引消去であります。

4. 金融費用の主な内訳は、為替差損10,631百万円であります。

(第2四半期連結会計期間)

前第2四半期連結会計期間(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	5,458	32,110	706	3,980	410	42,664	-	42,664
セグメント間収益	-	810	-	8	66	884	△884	-
計	5,458	32,920	706	3,988	476	43,548	△884	42,664
セグメント利益又は損失 (注1)	△605	13,990	206	△1,483	△116	11,992	△5	11,987
その他の収益・費用(純額)								△667
営業利益								11,320
金融収益・費用(純額)								2,234
持分法による投資利益								11
税引前四半期利益								13,565

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいております。
 3. セグメント利益又は損失の調整額△5百万円は、セグメント間取引消去であります。

当第2四半期連結会計期間(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)

	報告セグメント					計	調整額 (注3)	連結
	日本	韓国	中国	北米	その他			
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
売上収益								
外部収益	3,575	31,190	929	2,075	354	38,123	-	38,123
セグメント間収益	37	505	-	232	22	796	△796	-
計	3,612	31,695	929	2,307	376	38,919	△796	38,123
セグメント利益又は損失 (注1)	△1,038	15,171	558	△1,218	△31	13,442	4	13,446
その他の収益・費用(純額)								△67
営業利益								13,379
金融収益・費用(純額) (注4)								△3,593
持分法による投資利益								53
税引前四半期利益								9,839

- (注) 1. セグメント利益又は損失は、売上収益から売上原価及び販売費及び一般管理費を控除しております。
 2. セグメント間の内部取引価格は一般的な市場価格に基づいております。
 3. セグメント利益又は損失の調整額4百万円は、セグメント間取引消去であります。
 4. 金融費用の主な内訳は、為替差損4,164百万円であります。

③ 地域ごとの情報

外部顧客からの売上収益は、次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
	百万円	百万円
日本	11,313	8,452
韓国	36,715	37,509
中国	38,691	41,454
北米	4,509	3,869
その他	3,408	4,336
合計	94,636	95,620

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米：米国及びカナダ
 (2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

(第2四半期連結会計期間)

	前第2四半期連結会計期間	当第2四半期連結会計期間
	(自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	(自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
	百万円	百万円
日本	5,455	3,891
韓国	16,251	14,954
中国	15,994	15,625
北米	2,814	1,706
その他	2,150	1,947
合計	42,664	38,123

- (注) 1. 売上収益は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。
 2. 国又は地域の区分は地理的近接度によっております。
 3. 各区分に属する主な国又は地域
 (1) 北米：米国及びカナダ
 (2) その他：欧州、中南米及びアジア諸国

④ 事業別の売上収益

事業別の売上収益は、次のとおりであります。

(第2四半期連結累計期間)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	75,324	73,687
モバイル	18,523	21,651
その他	789	282
合計	94,636	95,620

(第2四半期連結会計期間)

	前第2四半期連結会計期間 (自 2015年4月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2016年4月1日 至 2016年6月30日)
	百万円	百万円
PCオンライン	32,114	28,800
モバイル	10,153	9,208
その他	397	115
合計	42,664	38,123

(9) 後発事象

該当事項はありません。